

## 子 上野焼子ども作陶教室 子どもの個性輝いた上野焼作陶体験

町子育連子ども会育成連絡協議会主催の「上野焼子ども作陶教室」が7月7日に金田分館で行われました。毎年すぐに定員が埋まる人気のイベントに、町内学校の95人が参加。約1時間の体験で、個性豊かなアイデアを盛り込み作品を作り上げた参加者は、創意工夫して作り上げる難しさと喜びを体感しました。



↑ 手びねりでの作陶の指導から焼成まで、上野焼協同組合の8窯元が協力。

↓ 「茅の輪」の前で一礼後、8の字を描くように左右左の順で輪をくぐり参拝。



## 金田稲荷神社「夏越の大祓」 みんなの健康を祈る「茅の輪くぐり」

新年を迎えるまでの無病息災や厄除け、家内安全を願う「夏越の大祓」が、7月7日に金田稲荷神社で行われました。毎年の恒例行事には、地域に暮らす約50人が参列。参拝者たちは、神社総代たちが準備した直径約2m「茅の輪」を厳かにくぐりながら、今年の後半も健康に過ごせるよう祈りをささげていました。

↓ 現代で起こりがちなSNSでの事例を基に、どの部分に犯罪の罠が潜んでいるのかを話し合う児童たち。



## 身 弁城小「防犯教室」 身近な犯罪から身を守る為に

セキュリティサービス会社「ALSOK」による防犯教室が6月13日に弁城小で開かれ、全校児童76人が受講しました。5・6年生32人を対象とした授業では、インターネット上に潜む犯罪に巻き込まれないための対策をグループ別に検討。子どもたちは、過去の実体験なども共有しながら、現代社会で欠かせないツールの正しい利用方法を学習していました。

## 国 地方自治体実地体験研修の受入 と福智町との関係を深化した3日間に

今年度採用の国家公務員4人が6月11日から3日間「地方自治体実地体験研修」のため来町しました。国家公務員が地方自治体の広範囲な業務に携わり、理解を深めることを目的とする本研修。役場職員との意見交換、平成筑豊鉄道や上野焼協同組合での実地体験などを通して、町の業務や実情を学んでいました。



↑ 平成筑豊鉄道では、スーパーハッピー号などを見学して町との取組を把握。

↓ 7月2日に行われた感謝状贈呈式と除幕式。除幕直後には、大きな歓声。



## 書 浦田侑奈さんの書が新看板に採用 道歴13年の腕前生かし新看板を揮毫

鞍手高校の3年生で書道部に所属する浦田侑奈さん(上野)の書が、「直方警察署」の新看板に採用されました。「『警察』のイメージと読みやすさのバランスを崩さないように配慮しながら書くことが難しかった」と振り返った浦田さん。「自分の字が看板になるのは感慨深く、とてもうれしい」と喜びを口にしていました。

## 沖 給食のレシピ交流 縄への関心と知識を深めた給食交流

給食交流を通して町の兄弟都市・沖縄県中城村のことを知ってもらおうと、「慰霊の日」(6月23日㊿)に定められている週の6月21日(金)に、中城村の給食を提供しました。町の子供たちは、郷土料理として知られる「クワファージュシー」と「ゴーヤーチャンプル」を堪能。食を通じて沖縄への関心と知識を深めました。



↑ 人事交流で派遣されている儀間龍生さんと給食を愉しんだ金田義務の児童たち。

↓ 読書通帳の先輩でもある2年生(中央列)が、贈呈式の様子を優しく見守り。



## 知 読書通帳贈呈式 知識貯める通帳をすべての1年生に贈呈

町と協定を結ぶ西日本シティ銀行と「ふくちのち」が共同開発した「読書通帳」が、町の1年生192人に贈呈されました。7月3日に行われた贈呈式では、全1年生を代表して上野小・1年生の12人が受け取り。「ふくちのち」の井上憲治館長は「多くの本を読み記帳し、たくさん知識を貯めてほしい」と呼びかけました。